

2023年10-12月期景況調査の結果について（見解）

2024年1月24日
沖縄県中小企業家同友会

沖縄県中小企業家同友会は、会員企業から抽出した397社を対象に11月20日から12月22日の期間、「10-12月期景況」についてのアンケート調査を実施しました。その結果について見解を発表します。（本文中、特に断りのない限り前年同期比です）

回答企業数	回答率	対象企業 397社
153社	38.5%	
正従業員合計	正従業員平均	
3,635名	24名	
臨時従業員合計	臨時従業員平均	
1,903名	12名	

主たる事業の種類		(社)	(%)
1	製造業	21	13.7%
2	建設業	14	9.2%
3	流通・商業	44	28.8%
4	サービス	56	36.6%
5	情報	18	11.8%
計		153	100%

従業員数		(社)	(%)
正規			
0～5名		49	32.0%
6～10名		26	17.0%
11～20名		30	19.6%
21～50名		28	18.3%
51～100名		16	10.5%
101名以上		4	2.6%
計		153	100%

※小数点第2位を四捨五入している為、合計は必ずしも100%とはなりません。

**建設業以外は、業況判断DIはプラス超だが、先行きは予断を許さず
 今後は、原材料高騰・人手不足の対応としての価格転嫁が求められる**

- ① 業況判断DIは、前期調査結果と比べて(13.9⇒21.7)改善し、7期連続プラス超。
- ② 売上高DIは、前期調査結果と比べて(19.5⇒24.5)と改善し、引き続きプラス超。情報で大幅に改善し、マイナス超からプラス超に転化。
- ③ 経常利益DIは、前期調査結果と比べて(3.9⇒16.3)大幅な改善。製造業と情報は水面(0)からプラス超。
- ④ 資金繰りDI(「好転」-「悪化」割合)は、全業種の資金繰りDIはわずかに後退(5.1⇒3.9)するも、プラス超。製造業はマイナス超からプラス超に転化。
- ⑤ 経営上の問題点は、前期第2位の「従業員の不足」が第1位に、力点は前期第2位の「新規受注(顧客)の確保」が第1位に。
- ⑥ 先行きは、流通・商業と情報以外で改善し、建設業はマイナス超から水面(0)となる見通し。

(1) 業況判断

- ①前期調査結果と比べて(13.9⇒21.7)改善し、7期連続プラス超。前期調査時見通しと比べると(26.1⇒21.7)後退となった。また、前年同期(2022年10-12月期)と比較すると全業種の業況判断D I(「好転」-「悪化」割合)は(27.4⇒21.7)わずかに後退している。
- ②業種別では、建設・情報以外では改善。建設業は悪化し、水面(0)からマイナス超。
- ③前期調査での10-12月見通しと比べて製造以外で後退。情報は大幅にプラス超であるが後退している。(41.6⇒22.2)。
- ④先行きは、流通・商業と情報以外で改善し、建設業はマイナス超から改善し水面(0)となる見通し。

	2023 7-9月期	2023 10-12月 期	増減	前期調査 10-12月 期 見通し	2023 10-12月 期	増減	2023 10-12月 期	2024 1-3月期 見通し	増減
全業種	13.9	21.7	+ 7.8	26.1	21.7	- 4.4	21.7	22.4	+ 0.7
建設業	0.0	△ 7.2	- 7.2	0.0	△ 7.2	- 7.2	△ 7.2	0.0	+ 7.2
製造業	4.6	19.1	+ 14.5	18.2	19.1	+ 0.9	19.1	33.4	+ 14.3
流通・商業	13.7	29.6	+ 15.9	35.3	29.6	- 5.7	29.6	22.7	- 6.9
情報	25.0	22.2	- 2.8	41.6	22.2	- 19.4	22.2	5.5	- 16.7
サービス業	18.7	23.6	+ 4.9	24.2	23.6	- 0.6	23.6	29.1	+ 5.5

<業況判断D I内訳(好転、不変、悪化)>

○全業種の業況判断D I内訳をみると、前期(7-9月期)と比べて、「悪化」がわずかに増えたが、「好転」が大幅に増えたためD Iの改善となっている。業種別で見ると、流通・商業で「不変」と「悪化」が減少し、「好転」の増加によりD Iの改善となっている。

	全業種			サービス業			流通・商業			建設業			製造業			情報		
	2023 7-9月期	2023 10-12期	増減	2023 7-9月期	2023 10-12期	増減	2023 7-9月期	2023 10-12期	増減	2023 7-9月期	2023 10-12期	増減	2023 7-9月期	2023 10-12 期	2023 7-9期	2023 7-9月期	2023 10-12 期	増減
好転	34.2	42.8	+ 8.6	39.0	43.6	+ 4.6	33.3	45.5	+ 12.2	28.6	21.4	- 7.2	27.3	42.9	+ 15.6	33.3	50.0	+ 16.7
不変	45.6	36.2	- 9.4	40.7	36.4	- 4.3	47.1	38.6	- 8.5	42.9	50.0	+ 7.1	50.0	33.3	- 16.7	58.3	22.2	- 36.1
悪化	20.3	21.1	+ 0.8	20.3	20.0	- 0.3	19.6	15.9	- 3.7	28.6	28.6	0.0	22.7	23.8	+ 1.1	8.3	27.8	+ 19.5
D I	13.9	21.7	+ 7.8	18.7	23.6	+ 4.9	13.7	29.6	+ 15.9	0.0	△ 7.2	- 7.2	4.6	19.1	+ 14.5	25.0	22.2	- 2.8

<業況判断の要因等>(自由記述より抜粋)

1	【製造業】包装資材全般の販売・包装機械・食品製造機械の販売及び物流	↑	3年間のコロナによる疲弊で、人員は不足しているものの、そのために生産性向上に向けて新たな設備投資が消極的に思われる。
2	【製造業】お土産品の製造卸および小売業	↑	観光客増加で客数、売上が増加。円安の進行で仕入れ価格の高騰。予想を上回る売上で在庫不足、人員不足。
3	【製造業】畜産業(家畜生産)	→	費用増(飼料代)を価格に転嫁できず粗利益の減
4	【製造業】農業、卸売業、食品加工業	↓	8月の台風影響による生産量減及び台風片づけによる作付け遅れによる売り上げ減
5	【建設業】鉄筋ガス圧接、杭頭溶接	↑	日本人の人材不足で技術の継承が不安である。
6	【流通・商業】補聴器販売・修理・メンテナンス、医療機器販売	↑	・外出する機会が増え、会話に不自由を感じる人が増加、来店者が増加している。
7	【流通・商業】卸・小売業(包装・梱包資材機器販売)	↑	人手不足で、色々な問題が起きている、納期、単価等、今までの販売スタイルでは厳しいと思う、納期が延びればその納期に対してのシステム、考え方の新しいやり方など、付加価値をどうつけるのか、他社とのちがいは何か。販売業ではあるが、売上追求ではなく、利益追求で考え他社より安くではなく、同じ単価であれば売れる様、その為にどう付加価値付けるのか。
8	【流通・商業】食肉販売業	↓	コロナがおさまり、売り上げも上昇するかと思ったところ、取引先の廃業や縮小など見通しは悪い。さらに原料の高騰は続いています。販売価格の値上げもすぐ行えず新規受注に力を入れています。
9	【流通・商業】資産運用	↓	銀行が不動産融資へ用心深くなっているという業界の認識が及ばず、マイナス要因となっている
10	【サービス業】サービス業(障がい福祉サービ)	↑	人材不足による新規顧客獲得の機会を失うが、問題は把握しているので伸びしろあり

11	【サービス業】	投資アドバイス	↑	為替動向
12	【サービス業】	ディナークルージング、沖縄県産品卸売業	→	①円安の進行で原材料費が高騰 ②人材不足による工期遅れ等
13	【サービス業】	福祉、保育	→	仕入先からの値上げ要請が増えており対応に困っている。従業員の維持、増員についても人手不足の問題が大きい。
14	【サービス業】	サービス業（総合介護事業）	→	物価高騰、最低賃金UP、全体で約5%の上りではある中、介護報酬は0.3~0.6%しか上がらないのが現状矛盾が生じる。
15	【サービス業】	建築設計	↓	建築費高騰による新築住宅需要の減。民間需要の減に伴い、価格競争により若干坪単価が下がった。
16	【サービス業】	教育産業（求職者支援事業）	↓	人材派遣で売り手市場(求職者優位)となっているため派遣スタッフの確保が困難である。また派遣を依頼していた企業は自社採用がうまく進み派遣依頼の減少となっている
17	【情報】	情報システムに関するコンサルティング	↑	上期前半の予定受注は後半に延期となったため
18	【情報】	IT（情報技術）提供社主にソフトの開発	↑	システムエンジニア不足による機会損失

（２）売上高

- ①前期調査結果と比べて（19.5⇒24.5）と改善し、引き続きプラス超。また、前年同期（2022年10-12月期）と比較すると全業種の売上高DI（「増加」－「減少」割合）は（24.6⇒24.5）とほぼ同値。
- ②売上高DIは、サービス業以外の業種で改善。情報は、マイナスから大幅に改善し、プラス超に転化。
- ③前期調査での10-12月見通しと比べて製造業と情報以外で後退し、建設業はマイナス超に転化。
- ④先行きは製造業と情報で後退するも、プラス超を維持。それ以外の業種で改善し、建設業でマイナス超から水面(0)となる見通し。

	2023 7-9月期	2023 10-12月 期	増減	前期調査 10-12月 期 見通し	2023 10-12月 期	増減	2023 10-12月 期	2024 1-3月期 見通し	増減
全業種	19.5	24.5	+ 5.0	26.9	24.5	- 2.4	24.5	20.8	- 3.7
建設業	△ 14.3	△ 7.7	+ 6.6	21.4	△ 7.7	- 29.1	△ 7.7	0.0	+ 7.7
製造業	13.7	33.4	+ 19.7	18.2	33.4	+ 15.2	33.4	20.0	- 13.4
流通・商業	19.7	29.5	+ 9.8	34.7	29.5	- 5.2	29.5	31.0	+ 1.5
情報	△ 15.4	44.4	+ 59.8	15.4	44.4	+ 29.0	44.4	16.7	- 27.7
サービス業	37.2	18.2	- 19.0	27.6	18.2	- 9.4	18.2	20.0	+ 1.8

<売上高DI内訳（増加、横ばい、減少）>

○全業種の売上高DI内訳をみると、前期（7-9月期）と比べて、「横ばい」が減少し、「減少」はわずかに増え、「増加」が大幅な増加によりDIの改善となっている。業種別で見ると、サービス業では、「増加」「横ばい」の減少と「減少」の増加により、DIの後退となっている。

	全業種			サービス業			流通・商業			建設業			製造業			情報		
	2023 7-9月期	2023 10-12 期	増減	2023 7-9月期	2023 10-12 期	増減	2023 7-9月期	2023 10-12 期	増減	2023 7-9月期	2023 10-12 期	増減	2023 7-9月期	2023 10-12 期	増減	2023 7-9月期	2023 10-12 期	増減
増加	38.4	47.7	+ 9.3	50.8	45.5	- 5.3	37.3	50.0	+ 12.7	14.3	23.1	+ 8.8	27.3	52.4	+ 25.1	30.8	61.1	+ 30.3
横ばい	42.8	29.1	- 13.7	35.6	27.3	- 8.3	45.1	29.5	- 15.6	57.1	46.2	- 10.9	59.1	28.6	- 30.5	23.1	22.2	- 0.9
減少	18.9	23.2	+ 4.3	13.6	27.3	+ 13.7	17.6	20.5	+ 2.9	28.6	30.8	+ 2.2	13.6	19.0	+ 5.4	46.2	16.7	- 29.5
DI	19.5	24.5	+ 5.0	37.2	18.2	- 19.0	19.7	29.5	+ 9.8	△ 14.3	△ 7.7	+ 6.6	13.7	33.4	+ 19.7	△ 15.4	44.4	+ 59.8

(3) 経常利益

- ①前期調査結果と比べて(3.9⇒16.3)大幅な改善。また、前年同期(2022年10-12月期)と比較しても全業種の経常利益D I(「好転」-「悪化」割合)は(13.0⇒16.3)と改善している。
- ②業種別では、サービス業以外の業種で改善し、製造業と情報は水面(0)からプラス超。建設業は改善するも引き続きマイナス超。
- ③前期調査での10-12月見通しと比べて、建設業でマイナス超へ転化。製造と流通・商業と情報は改善。
- ④先行きは全業種でわずかに後退。製造業と情報で大幅に悪化し、製造業は水面(0)となり、情報はマイナス超に転化する見通し。

	2023 7-9月期	2023 10-12月 期	増減	前期調査 10-12月 期 見通し	2023 10-12月 期	増減	2023 10-12月 期	2024 1-3月期 見通し	増減
全業種	3.9	16.3	+12.4	17.2	16.3	-0.9	16.3	13.2	-3.1
建設業	△30.8	△16.6	+14.2	7.7	△16.6	-24.3	△16.6	△15.4	+1.2
製造業	0.0	20.0	+20.0	9.5	20.0	+10.5	20.0	0.0	-20.0
流通・商業	6.0	28.6	+22.6	24.5	28.6	+4.1	28.6	27.5	-1.1
情報	0.0	22.2	+22.2	7.7	22.2	+14.5	22.2	△5.6	-27.8
サービス業	12.3	10.7	-1.6	18.2	10.7	-7.5	10.7	20.4	+9.7

<経常利益D I内訳(好転、不変、悪化)>

○全業種の経常利益D I内訳をみると、前期(7-9月期)と比べて、「好転」の増加と、「不変」「悪化」の減少により、D Iの改善となっている。業種別でみると、サービス業で「好転」の「悪化」を上回る減少により、D Iのわずかな後退となっている。

	全業種			サービス業			流通・商業			建設業			製造業			情報		
	2023 7-9月期	2023 10-12 期	増減	2023 7-9月期	2023 10-12 期	増減	2023 7-9月期	2023 10-12 期	増減	2023 7-9月期	2023 10-12 期	増減	2023 7-9月期	2023 10-12 期	増減	2023 7-9月期	2023 10-12 期	増減
好転	29.2	37.2	+8.0	40.4	35.7	-4.7	26.0	40.5	+14.5	7.7	16.7	+9.0	19.0	40.0	+21.0	30.8	44.4	+13.6
不変	45.5	41.9	-3.6	31.6	39.3	+7.7	54.0	47.6	-6.4	53.8	50.0	-3.8	61.9	40.0	-21.9	38.5	33.3	-5.2
悪化	25.3	20.9	-4.4	28.1	25.0	-3.1	20.0	11.9	-8.1	38.5	33.3	-5.2	19.0	20.0	+1.0	30.8	22.2	-8.6
D I	3.9	16.3	+12.4	12.3	10.7	-1.6	6.0	28.6	+22.6	△30.8	△16.6	+14.2	0.0	20.0	+20.0	0.0	22.2	+22.2

[好転した理由](複数回答可)

全業種の第1位から第2位まで前期と同様で、第3位に前回第4位の「人件費の低下」(7.1%)と「外注費の減少」(7.1%)が入っている。

<全業種の好転した理由(1位~4位)>

	2023 10- 12	2023 10-12	2023 10-12	2023 7-9 回答率	2023 7-9 順位
売上総量・客数の増加	44	78.6%	1	86.4%	1
売上単価・客単価の上昇	28	50.0%	2	40.9%	2
人件費の低下	4	7.1%	3	2.3%	4
外注費の減少	4	7.1%	3	2.3%	4

〔悪化した理由〕（複数回答可）

全業種では、第1位と第4位が前期同様となっており、第2位と第3位が入れ替わっている。業種別でもほぼ同様の結果だが、建設業で「人件費の増加」を1位に上げ、他と比べて比率が高いのが特徴。

＜全業種の悪化した理由(1位～4位)＞

	2023 10-12 回答数	2023 10-12 回答率	2023 10-12 順位	2023 7-9 回答率	2023 7-9 順位
売上総量・客数の減少	25	75.8%	1	62.9%	1
人件費の増加	16	48.5%	2	45.7%	3
原材料費・商品仕入額の増加	9	27.3%	3	48.6%	2
売上単価・客単価の低下	6	18.2%	4	22.9%	4

〔採算の水準〕

①今期（10-12月期）全業種の採算の水準は、前期と比べて増加し、引き続きプラス超。

業種別では、サービス業でわずかに悪化するも、それ以外の業種で改善。特に建設業で大幅に改善し、プラス超に転化。

	全業種			サービス業			流通・商業			建設業			製造業			情報		
	2023 7-9月期	2023 10-12月 期	増減	2023 7-9月期	2023 10-12月 期	増減	2023 7-9月期	2023 10-12月 期	増減	2023 7-9月期	2023 10-12月 期	増減	2023 7-9月期	2023 10-12月 期	増減	2023 7-9月期	2023 10-12月 期	増減
D I	18.5	29.7	+ 11.2	24.6	24.0	- 0.6	16.7	35.8	+ 19.1	△ 14.3	15.4	+ 29.7	14.3	28.5	+ 14.2	41.6	44.4	+ 2.8

(4) 資金繰り

①10-12月期の全業種の資金繰りD I（「好転」－「悪化」割合）はわずかに後退するも、プラス超。

業種別では、流通・商業とサービス業で後退。それ以外の業種で改善し、製造業はプラス超に転化。

	2023 7-9月期	2023 10-12月 期	増減
全業種	5.1	3.9	- 1.2
建設業	14.3	15.4	+ 1.1
製造業	△ 9.2	4.8	+ 14.0
流通・商業	13.7	7.1	- 6.6
情報	33.3	52.9	+ 19.6
サービス業	△ 5.1	△ 16.0	- 10.9

(5) 経営上の問題点・力点

〔問題点〕

○全業種では第1位に前期第2位の「従業員の不足」と逆転しており、第2位以降も順位は変わっても前期同様の問題点が上げられている。

	2023 10-12 回答数	2023 10-12 回答率	2023 10-12 順位	2023 7-9 回答率	2023 7-9 順位
従業員の不足	65	43.3%	1	34.9%	2
仕入単価の上昇	58	38.7%	2	49.7%	1
人件費の増加	58	38.7%	2	32.9%	3
同業者相互の価格競争の激化	29	19.3%	4	18.1%	4
民間需要の停滞	29	19.3%	4	16.8%	5

<問題点業種別>

業種別で見ても、ほぼ同様の結果だが、建設業で「従業員の不足」を第1位にあげ、他の業種に比べて比率が高いのが特徴となっている。

	全体		サービス業		流通・商業(卸小売他)		建設業		製造業		情報							
	順位	順位	順位	順位	順位	順位	順位	順位	順位	順位	順位							
従業員の不足	65	43.3%	1	26	47.3%	1	16	37.2%	2	10	71.4%	1	8	38.1%	2	5	29.4%	3
仕入単価の上昇	58	38.7%	2	19	34.5%	3	20	46.5%	1	5	35.7%	3	10	47.6%	1	4	23.5%	4
人件費の増加	58	38.7%	2	23	41.8%	2	16	37.2%	2	6	42.9%	2	6	28.6%	4	7	41.2%	1
同業者相互の価格競争の激化	29	19.3%	4	8	14.5%	5	10	23.3%	4	1	7.1%	6	3	14.3%	7	7	41.2%	1
民間需要の停滞	29	19.3%	4	7	12.7%	6	9	20.9%	5	1	7.1%	6	8	38.1%	2	4	23.5%	4

※全体の順位で表記している為、業種別順位は必ずしも1~5位とは限りません。

※表以外の回答は別紙参照

[力点]

○全業種では第1位に前期第2位の「新規受注(顧客)の確保」をあげ、第2位に前回第1位の「付加価値の増大」、第3位から第5位は前期同様となっている。

	2023 10-12 回答数	2023 10-12 回答率	2023 10-12 順位	2023 7-9 回答率	2023 7-9 順位
新規受注(顧客)の確保	74	50.3%	1	46.1%	2
付加価値の増大	69	46.9%	2	54.5%	1
人材確保	62	42.2%	3	35.1%	3
社員教育	50	34.0%	4	33.1%	4
財務体質の強化	34	23.1%	5	17.5%	5

<力点業種別>

業種別で見ても、ほぼ同様の結果だが、建設業で「人材確保」を第1位にあげ、他の業種に比べて比率が高いのが特徴となっている。

	全体		サービス業		流通・商業(卸小売他)		建設業		製造業		情報							
	順位	順位	順位	順位	順位	順位	順位	順位	順位	順位	順位							
新規受注(顧客)の確保	74	50.3%	1	32	62.7%	1	17	39.5%	3	4	28.6%	3	11	52.4%	1	10	55.6%	1
付加価値の増大	69	46.9%	2	20	39.2%	3	27	62.8%	1	4	28.6%	3	10	47.6%	2	8	44.4%	2
人材確保	62	42.2%	3	23	45.1%	2	17	39.5%	3	8	57.1%	1	6	28.6%	4	8	44.4%	2
社員教育	50	34.0%	4	13	25.5%	4	21	48.8%	2	6	42.9%	2	6	28.6%	4	4	22.2%	5
財務体質の強化	34	23.1%	5	12	23.5%	5	10	23.3%	6	3	21.4%	5	8	38.1%	3	1	5.6%	8

※全体の順位で表記している為、業種別順位は必ずしも1~5位とは限りません。

※表以外の回答は別紙参照

(6) 全国、県内の他機関との比較

①「中小企業家同友会全国協議会（略：中同協）」の「同友会景況（10-12月期）調査」

（12月1日～15日調査、863社回答）

②日本銀行那覇支店（11月9日～12月12日調査、141社回答）

③沖縄振興開発金融公庫（11月中旬～12月上旬、資本金一千万円以上かつ従業員20名以上企業を対象、328社回答）

[全国・他機関との比較]

○前期調査と比べて、県内の機関は引き続きプラス超だが、中同協で後退している。

前期調査時の7-9月見通しと比べると、公庫と日銀で増加。

1-3月期見通しは、県内の機関では後退であっても、プラス超の見通し。中同協ではマイナス超の見通しとなっている。

	2023 7-9期	2023 10-12期	増減	前期調査時の 10-12期見通し	2024 1-3月期 見通し
●沖縄県中小企業家同友会	13.9	21.7	+ 7.8	26.1	22.4
①中小企業家同友会全国協議会	6.0	6.0	0.0	8.0	8.0
②日本銀行那覇支店	39.0	42.0	+ 3.0	37.0	32.0
③沖縄振興開発金融公庫	18.0	21.0	+ 3.0	20.5	17.7